



電力自由化どうする？ どう選ぶ？ 【実践編】

「我が家にぴったりの電力会社は？」 1 回目

2016/04/05 丸山晴美のエネ・エコライフ

丸山 晴美

消費生活アドバイザー

電力自由化によって、今まではそのエリアを管轄する電力会社のみ契約だったが、これからは、消費者が選ぶ時代になりました。選択肢が増えたことで、消費者としてはさまざまなメリットも期待できそうです。

今まで選ぶ自由がなかったため、電力料金は硬直的でしたが、自由化によって柔軟性のある料金プランを消費者が選ぶことができたり、料金プランだけではなく、どのように発電をしているのか？といった発電方法で選ぶこともできるでしょう。とはいえ、多くの消費者は、料金に注目しているのではないかと思います。

私自身、電力自由化で電力会社の乗り換えを検討しているいち消費者として、今回は我が家にぴったりの電力会社を考えてみたいと思います。

まず我が家の現状

- エリア 関東（東京電力管轄）
- 契約種別 従量電灯C
- 契約A数 8kVA（80Aに相当）
- 月の使用量 500kWh くらい
- 都市ガス併用住宅（東京ガス）

現状の電力会社で検討してみると…

現在は東京電力と契約をしているので、東京電力のプランで変更を考えるべく東京電力のHPで試算してみました。

その結果…



試算結果 (おトク額) :

年間 **28 円** おトク

ポイントなど、電気料金以外の特典は試算結果に含まれません。

お客さまに合った料金プランを試算しました。
新たに追加したご家庭向けの料金プランは、電気料金のお支払いに応じてポイントが貯まりますので、この機会にお申込みください。
※ Webからのお申込みで、もれなく500ポイントを差し上げます。

試算の詳細

順位	試算結果	プラン名
1	<p>年間 28 円 おトク</p> <p><small>ポイントなど、電気料金以外の特典は試算結果に含まれません。</small></p> <p>契約容量が6kVA (キロボルトアンペア) 以上の方が対象となります</p> <p>一人暮らしからファミリーまで幅広いお客さまに■ 時間帯や曜日を見ずに電気をお使いいただけるプランです。 主幹機器 (冷蔵庫・洗濯機など) の容量に応じた6kVA以上の容量の契約です。例 えば、電気製品が多いご家庭におすすめです。</p>	<p>電気料金 スタンダードL</p> <p>このプランのおすすめポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気料金1,000円毎につき500ポイント貯まる! 「Tポイント」または「Pontaポイント」としてご利用いただけます! ※ Webからのお申込みで、もれなく500ポイントを差し上げます! <p>このプランに申し込む (Webのお申込みで500ポイント!)</p>

なんと、年間 28 円のお得！そこに別途 1,000 円ごとにポイントが貯まるので、実際にはもうちょっとお得にはなるでしょう。

ちなみに、それ以外のプランは全て割高になるという試算結果に…。

それなら、35 社、232 の料金プラン^{注1)}から電気料金の比較ができる価格.comの[電気料金比較](http://価格.com)を利用して、我が家に合う電気料金の候補を見つけてみたいと思います。

まずは、先ほどの条件を入力して 1 年間の節約額をシミュレーションすると…

1 位 ENEOS でんき A プラン

1 年間の節約額 17,866 円+T ポイント 813 円/年還元

他特典など 「ENEOS でんき」の支払い 200 円 (税抜) につき T ポイント 1 ポイント付与

2 位 九電みらいエナジー 基本プラン L

1 年間の節約額 17,550 円

他特典など 事務手数料、解約違約金等は発生しない

3 位 東京ガス ずっとも電気 2 (6kVA 以上)「ガス・電気セット割」

1 年間の節約額 16,995 円+3,415 円ポイント還元

他特典など 電気料金 1,000 円ごとにパッチョポイント 15 ポイント付与。パッチョポイントは、T ポイント、楽天ポイント、Ponta ポイントなどに交換できる。

4 位 東燃ゼネラル石油 従量電灯 C まとめて 400

1 年間の節約額 15,242 円

他特典など 毎月 400kWh 分をまとめて購入すると安くなる

5 位 東燃ゼネラル石油 従量電灯 C たっぴりプラン

1 年間の節約額 14,821 円

他特典など 月 600kWh を超える家庭向き

という結果になり、電力の購入先を変えることで年間の節約額が大きく変わることがわかりました。

ということは、我が家にとっては乗り換えを具体的に検討した方がお得であるならば、このシミュレーション結果だけを鵜呑みにするのではなく、より中身を検討する必要があります。この1年間だけの結果でよいのか、それとも長期で見るとお得になる業者は異なるかも知れません。

他にもシミュレーションでは見えない手数料が存在するかも知れません。

次回は、選ぶ際にはどのような点に注意をしながら検討していくのが良いのか、チェック項目や事例を挙げながら、解説をしたいと思います。

注1) 2016年3月28日現在